

校長通信

第2号 令和5年4月28日

今回は4月21日（金）に実施された「携帯マナー講演会」の内容を整理してお伝えします。

講演会は、実際の事例をもとにつくられたアニメーションを見ながら、インターネットにかかわるトラブルについて学びました。これまで自分には関係ないと思っていたことが、実はそうではないと思い知らされる契機になりました。□内は追加の情報です。

1 個人情報とは自ら守れ

- ・ 個人情報とは、その人が誰かを特定できるもの、自らを守るためにネット上に書いてはいけない。
- ・ 聞いている人見ている人は、住所・写真・家族の情報を晒そうとしている。
- ・ ネットでは必ず探される。

バイト先で、シンクで入浴。アイスクリーム用冷凍庫に入るなど…

2 軽い気持ちで発信した動画一つでとんでもないことに

- ・ 7～8年前にはやった迷惑動画が復活した。
- ・ ショウガを自分の箸で食べる、なめた寿司を戻すなどの迷惑動画が拡散し、大変なことに。
- ・ やってしまってから反省してもネットは許してくれない。
- ・ 送信する前に、次にどうなる考えることが必要

自分がふざけている様子を同僚が動画にとり、24時間で投稿が消えるストーリーにアップした。仲のいい友人や知人しか見ないはずのフォロワー100人位の【鍵垢】だから大丈夫だろうと思っていた。しかし、その姿は世界中に拡散されてしまった。自分の顔出しでの動画への反応が、ツイッターで瞬く間にどんどん拡散されて数字が上がった。アカウントだけではなく、実名、学校名、バイト先も特定された。友人の【鍵垢】を見たフォロワーの一人が、「こんな馬鹿がいるから取り上げて懲らしめてくれ」と動画をリークしたものである。

3 アイドルを支援する「推し」活動の罠

- ・ 「投げ銭」にはまり抜け出せない。
- ・ ゲームにはまるのは薬物と同じ、中毒。
- ・ ゲーム障害は精神病。治療しなければ治りません。
- ・ 専門病院「久里浜医療センター」には、数千人のゲームを止められない人が入院しています。

ゲーム依存は小5小6が危険です。高校生はわかっているので、減少傾向にあります。

ここは、患者であふれています。大きな病院には「ゲーム診療科」があります。もちろん小樽にも。

- ・ TIME&PLACE を考え、自分の中で時間をマネジメントするのが大切。
- ・ スマホのゲームは、布団の中ではやらない、必ず人のいるところで。

4 フィルタリングは法律で決まっている

- ・ SNS に起因する犯罪の85%はフィルタリングをかけていない。

5 犯罪に巻き込まれたら

- ・ メール保存、スクリーンショットで証拠を残す。早く親や相談窓口相談する。
- ・ 「闇バイト」で強盗事件の手下となるのも SNS がらみ。「1回でやめられる、関係が切れる」と説明され、最初の1回・2回で成功したら、「才能あるな」とうまい言葉で免許証などを出させ、抜けられないようにする。もう警察に捕まるまで抜け出せない。

[総務省 | 教育情報化の推進 | インターネットトラブル事例集ダウンロードページ \(soumu.go.jp\)](https://soumu.go.jp)